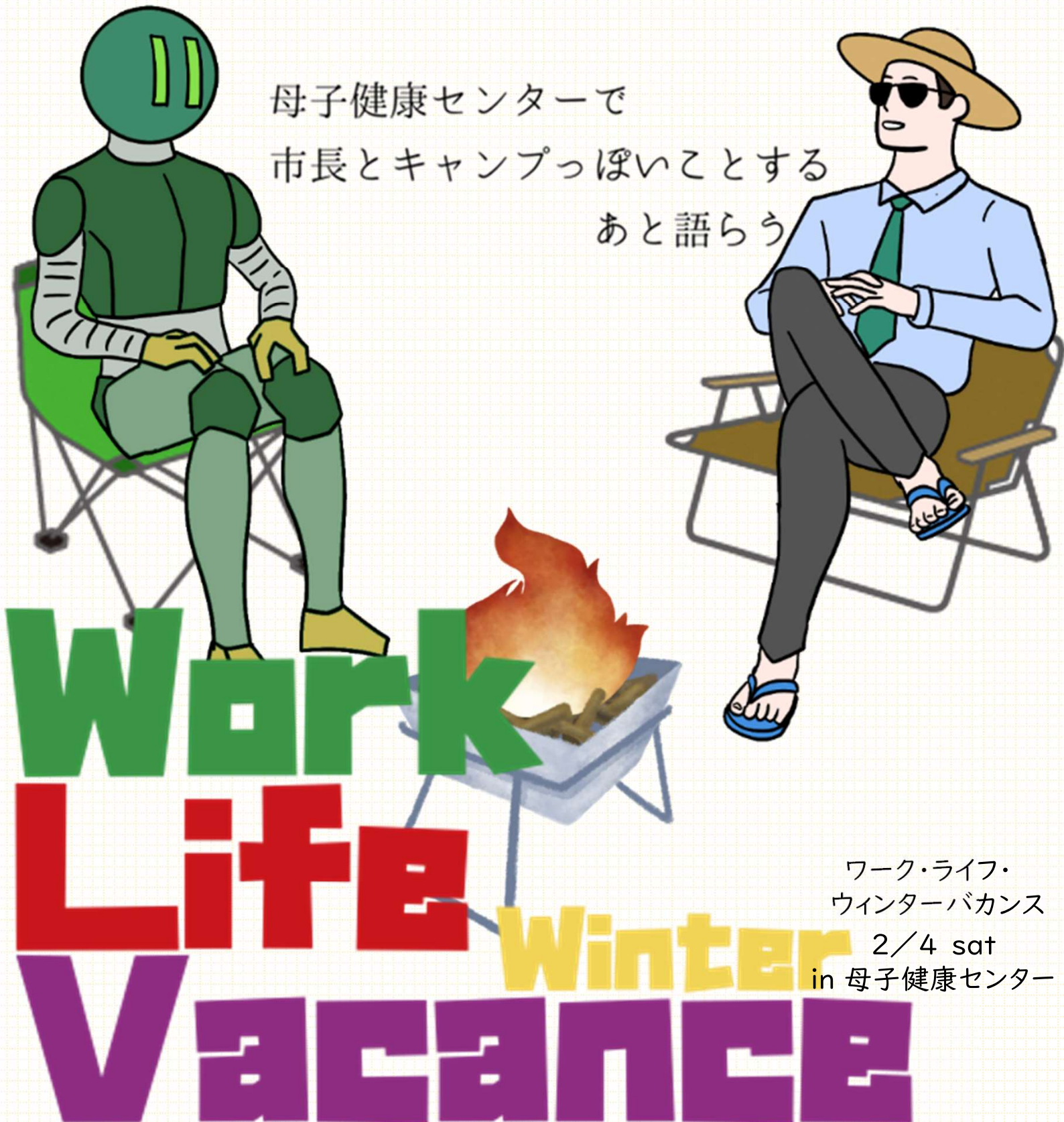


リアルと  
メタバース空間を  
組み合わせた  
“超”ハイブリッド企画!

母子健康センターで  
市長とキャンプっほいことする  
あと語らう



ワーク・ライフ・  
ウィンターバカンス  
2/4 sat  
in 母子健康センター

# Talk 「やりたい」と思える そんなまちへ



焚火（っばいもの）を囲むと、膝と気持ちが近づいてく土曜の午後のチルタイムに私たちのキャンプ場では、高校生から社会人まで みんな一緒になって、それぞれの想いを、焚火にくべました。

## withコロナが導く 新しい生活のカタチ

- ・人と面と向かって会うことが難しくなり、これまで当たり前だった、人と会えることのありがたみを強く感じるようになった。
- ・新しい技術によって、いろんな仕事は機械で、できるようになるかもしれないけど、人の温かさとか、人がやること **が付加価値**になっていくような気がする。
- ・働き方はどんどん変わっていくかもしれない。
- ・芸術やデザインの仕事は変わらず続いていきそう。
- ・人でないといけないことでも、デジタル技術はどんどんやってくる。取り残されないようにしないと。

## 声にだしてみた「自分のやりたいこと」

- ・人が大好きなので、自分のためよりも人のために使いたい。
- ・自分が楽しいと思える仕事をしたい。
- ・人間が、自分がやったからこそ、価値がでる、そんなことに携わりたい。
- ・まだ何がやりたいかは定まっていない。いろんな経験を積むことで、自分のやりたいことを見つけたい。
- ・誰かの夢を支えつつ、一緒に育っていききたい

## やりたい が言えるまち である ために

- ・とても暖かい方が多いと感じる。そんな多賀城は変わらないでほしい。
- ・市立図書館はとてもいい雰囲気を使いやすく、これからも変わらず残ってほしい。周辺に学生が利用しやすい飲食店がもっと増えてくれたら！
- ・市長が若者に寄り添って、意見を汲み取ろうとしてくれているんだということを強く感じた。
- ・今回のイベントをきっかけに多賀城への興味が強く湧いたので、こんなイベント、またやってほしい。
- ・歴史をはじめ、多賀城は魅力的なところがたくさん！観光地よりも、気軽に、何度でも訪れたい多賀城になってほしい。



人との交流って、やっぱり楽しい

# Concept

## 出発点は「市長と若者の語らいの場」という原点

今年度の最後を締めくくるイベントは、「市長と若者の語らいの場」という原点への回帰。深谷市長と若者たちがより近い距離で、自分の想いを語り合える空間を演出することを第一に企画しました。コロナ禍の先にある新しい仕事（ワーク）と生活（ライフ）について、休暇（バカンス）を取りながらリラックスして語り合う。そんなコンセプトにささやかなダジャレを効かせた「ワーク・ライフ・ウィンターバカンス」です。

そして、初の試みとして、メタバースによるオンライン参加も同時に受け付ける、オンとオフの”超”ハイブリッド企画として語らいの場を演出してみました。

### 「語りやすさ」をデザインした疑似キャンプ空間

母子健康センター内に再現



使用した疑似焚火は、熱くないんだけど、でも、思わず手をかざしちゃう、暖かい雰囲気が出るんです。

「焚火を囲みながら話すと、良い雰囲気です。」  
「でも、定期的に屋外でやるのは厳しいかも・・・」  
「じゃあ、屋内で焚火しちゃおう？」  
そんな発想から生まれた屋内での疑似焚火を利用したキャンプ空間の再現。  
輪になって、近い距離で、お互いの顔を見ながら話す、話を聴く。コロナ禍でなかなかできなかったことが、少しずつできるようになりました。



9月に実施したイベント「Love Plant & Taste Herb」で講師をしていただいた薬剤師 とうようしこさんによるハーブティーやスープのお振る舞いも！

### 超ハイブリッド企画

### 現実世界では難しい政庁跡でのキャンプ空間

メタバースプラットフォーム「cluster」内に再現

今回は「一堂に会する」感覚をぜひオンライン参加の人にも味わってもらいたい、新しいことをやってみたくいうことで、メタバースプラットフォーム「cluster」を使用したオンライン参加を企画しました。

せっかくバーチャル空間でやるなら、普段できないことやってみたく。そこで、特別史跡「多賀城跡」での焚火・キャンプ空間を再現しました。



参加者は「アバター」で参加！



オフライン会場の様子をメタバース上にリアルタイムで配信し、それぞれで出た意見を共有することで、できるだけオンとオフの一体感を感じられるよう工夫しました。



# Message

## 目指したいのは、 「優しい想い」がつながるまち

コロナであまりにも突然世界は変わりました。でも、私たちは、戻るのではなく、withコロナの世界を「先に進む」という判断をしなければなりません。

こうした新しい世界をいきていく。若い世代の皆さんを多賀城市としては応援したい！

なので、今回のイベントの中で、「これからの社会で何がしたいのか」を聞かせてもらいました。

皆さんからは、「誰かのために何かをしたい」という意見がたくさん出て非常にうれしいです。

人が、誰かを想って何かをする。「優しい想い」がつながっていくことで、いいまちになっていくんじゃないでしょうか。

来年、多賀城創建1300年を迎え、盛大にお祝いします。それは、多賀城を「チャレンジしたいと思えるまち」ひいては「選ばれるまち」にするための一歩だと考えています。

皆さんの若い発想を形にしたいと考えています。

withコロナの新しい多賀城を、みなさんと盛り上げていけたらと思うので、これからもよろしくね♪

多賀城市長 深谷 晃祐



## #体験 メタバース

イベントで使用したワールドを期間限定で公開しています！  
ぜひメタバース空間を体験してみてください。

【アクセス方法】PC・スマホどちらでもアクセス可！

- ① アプリ「cluster」インストール
- ② 以下のQRを読み込むか、「史跡でキャンプ」で検索！



令和5年4月30日(日)まで限定公開！



## T 「Tagajo Future Local Activation Group Session」

T-FLAGS (多賀城の若者 みらい創造事業) って？

多様な感性や価値観、豊かな創造力を活かせるようにスタートしました。交流の場を通して、共に多賀城を創造するためのアイデアを出し合い、実践につなげることを目指しています。

「T-FL A G S」の愛称は、第六次多賀城市総合計画将来都市像ロゴマーク「たがじょうばた」を旗になぞらえて、多賀城の未来を身近に考えたり、実践する場(活動)という意味が込められています。

To be Continued 2023

T-FLAGS  
taga-machi-press

多賀城の若者  
×  
みらい創造事業

乞うご期待！